

令和6年度学校評価アンケート(生徒編) 集計結果

NO.	質問内容	肯定 (%)	否定 (%)	肯定	否定
1	大山口中学校が好きですか。	88	12	88	12
2	自分を大切にしていますか。	86	14	86	14
3	周りの人を大切にしていますか。	97	3	97	3
4	自ら進んで学習していますか。	74	26	74	26
5	誰にでも優しく接していますか。	89	11	89	11
6	ものを大切にしていますか。	92	8	92	8
7	自分を鍛えようとしていますか。	83	17	83	17
8	先生は個に応じて一生懸命に教えてくれていますか。	91	9	91	9
9	自分から授業に進んで参加していますか。	90	10	90	10
10	授業はわかりやすいですか。	87	13	87	13
11	家庭学習をしていますか。	75	25	75	25
12	学校のルール(基本的な生活習慣)を守っていますか。	95	5	95	5
13	先生は相談に応じてくれますか。	95	5	95	5
14	気軽に話せる友人がいますか。	96	4	96	4
15	気軽に話せたり相談できる先生がいますか。	79	21	79	21
16	清掃は丁寧にできていますか。	93	7	93	7
17	学校行事から学ぶことがありますか。	87	13	87	13
18	生徒会活動や学級活動に意欲的に取り組んでいますか。	83	17	83	17
19	部活動に意欲的に参加していますか(いましたか)。	88	12	88	12
20	学校目標と学年目標を知っていますか。	86	14	86	14
21	学校からの情報を保護者に伝えていますか。	89	11	89	11
22	先生は生徒個々の特性やニーズに応じて接していますか。	90	10	90	10

令和6年度学校評価アンケート（生徒編） 考察

1 肯定的な回答が多かったもの

設問3「周りの人を大切にしていますか」に対しては97%の肯定的な回答が得られた。道徳科やピア・サポート、日々の様々な場面において、自分を大切にすることと同時に周囲の人も大切にできることを指導している。昨年度と比較しても同程度の数値であり、他への思いやりが醸成しつつあることがうかがえる結果となった。また、設問14「気軽に話せる友人がいますか」に対しても96%の肯定的な回答が得られた。設問3の内容とも相乗し、良好な人間関係が構築されていると考えられる。

一方で、設問2「自分を大切にしていますか」においては、肯定的な86%となっており、今後さらに向上させていかなくてはならない項目として教育活動に生かしていきたい。

設問12「学校のルール（基本的な生活習慣）を守っていますか」に対しては95%と高い肯定率となっている。ルールを守ることは、生徒全員が気持ちよく生活する上で必要不可欠な要素である。今後も高水準で維持及び向上ができるように、継続的に指導・支援にあたっていきたい。

設問16「清掃は丁寧にできていますか」では93%の肯定的な回答が得られた。3年前より行っている自問清掃への取り組みが着実に前進していると考えられる。自分たちの生活環境を自分たちで清潔に保つ意識を今後も引き続き高めていきたい。

2 否定的な回答が多かったもの

主に学習へ対しての設問に課題が見られた。設問4「自ら進んで学習していますか」が26%、設問11「家庭学習をしていますか」が25%と、学習に関する否定的な回答が昨年度と同程度で推移している。設問8「先生は個に応じて一生懸命に教えてくれていますか」の肯定率は91%、設問9「自分から授業に進んで参加していますか」の肯定率は90%となっており、授業への意欲的な参加が、自らの学習への意識と家庭学習の習慣へ結びついていないことがわかる。生徒たちの興味・関心を引き出せるような学習を開拓していくことを通して、家庭学習への動機づけも向上させていきたい。

本校では「学力向上」を目標として掲げ授業改善を図っているところである。授業においてはICTの利活用、対話的な学習や学び合い活動等を実践している。全国学力・学習状況調査等の結果も分析しつつ、学力向上とともに学習への意欲的な態度を育成できるよう、引き続き授業改善と家庭学習習慣の確立に努めていきたい。

3 総合的に（他の項目や昨年度との比較から）

設問13「先生は相談に応じてくれますか」に95%の肯定的な回答が得られたのに対し、設問15「気軽に話せたり相談できる先生がいますか」では79%の肯定率である。先生とは日常のちょっとした悩みや困りごとを気軽に相談できる存在であることを認識できるような距離感を実現するとともに、生徒と向き合える時間をさらに確保できるように努めたいと思う。

設問20「学校目標と学年目標を知っていますか」については、86%の肯定的な回答を得られた。これは前年度に比べて9ポイントのアップである。日常の生活に中において学校目標・学年目標・学級目標の周知をさせることができているのではないかと考える。

今後も安全・安心な学校生活の実現と学力向上を目指し、よりよい教育活動に取り組んでまいりたい。

令和6年度学校評価アンケート(保護者編) 集計結果

NO.	質問内容	肯定 (%)	否定 (%)	肯定	否定
1	お子様は大山口中学校が好きですか。	92	8	92	8
2	お子様は自分を大切にしていますか。	98	2	98	2
3	お子様は周りの人を大切にしていますか。	98	2	98	2
4	お子様は自ら進んで学習していますか。	65	35	65	35
5	お子様は誰にでも優しく接していますか。	96	4	96	4
6	お子様はものを大切にしていますか。	83	17	83	17
7	お子様は自分を鍛えようとしていますか。	67	33	67	33
8	学校は個に応じた授業を工夫していますか。	73	27	73	27
9	お子様は意欲的に学習に取り組んでいますか。	65	35	65	35
10	お子様は授業がわかると言っていますか。	64	36	64	36
11	お子様は家庭学習をしていますか。	68	32	68	32
12	お子様は学校生活のルール(基本的な生活習慣)が守られていますか。	94	6	94	6
13	学校は保護者やお子様からの相談に丁寧に応じていますか。	95	5	95	5
14	お子様には気軽に話せる友人がいますか。	91	9	91	9
15	お子様には気軽に話せたり相談できる先生がいますか。	74	26	74	26
16	お子様は身の回りの整理整頓ができるていますか。	50	50	50	50
17	学校行事はお子様の成長に結びついていますか。	94	6	94	6
18	お子様は生徒会活動や学級活動に意欲的に取り組んでいますか。	79	21	79	21
19	お子様は部活動に意欲的に参加していますか(いましたか)。	80	20	80	20
20	学校目標や学年目標は保護者に伝わっていますか。	74	26	74	26
21	学校からの必要な情報が保護者に伝わっていますか。	90	10	90	10
22	学校は保護者や地域からの願いに応じた教育をしていますか。	86	14	86	14
23	学校は環境整備や安全への配慮ができていますか。	93	7	93	7
24	学校は生徒個々の特性やニーズに応じた支援を行っていますか。	79	21	79	21

令和6年度学校評価アンケート（保護者編） 考察

1 肯定的な回答が多かったもの

設問2「お子様は自分を大切にしていますか」、設問3「お子様は周りの人を大切にしていますか」の2つの項目に対し、98%を超える肯定的な回答が寄せられた。本校においても重点目標として力を注いでいることであり、昨年度を超える成果として捉えることができる。これは、家庭との連携なくしては実現しないことであり、保護者の方々にも感謝申し上げたい。

設問13「学校は保護者やお子様からの相談に丁寧に応じていますか」においても95%の肯定的な回答が寄せられている。教育相談や保護者面談での応対に加え、日頃からの関係作りなどにおいて、一定の評価をいただけたものと考えている。

設問17「学校行事はお子様の成長に結びついていますか」について、94%の肯定的な回答が得られた。アフターコロナを見据え、形態を工夫しながら行事を運営していること、行事を自分たちの力で創り上げていこうとする生徒の前向きな姿勢の賜物である。また、そのような生徒の活躍の場を保護者に公開できる機会を昨年度に比べ増やしたこと、生徒の成長を保護者にも認識してもらえることにつながっているのだと考えられる。

2 否定的な回答が多かったもの

最も割合が高かったものが設問16の「お子様は身の回りの整理整頓ができますか」で、50%の否定的な回答が寄せられている。この項目については前年度も同様だった。家庭の中で顕著にみられるが故の結果であると思われるが、学校生活における課題のひとつでもある。引き続き今後の生活において、重点を置いて指導にあたっていきたい。

次に割合が高かったものが、学習面に関する設問4、9、10、11である。意欲的な学習への取り組み、授業や家庭学習に関する設問に対する否定的な回答が30%を超え、昨年度のアンケートより、やや上昇している。本校が抱える重要な課題のひとつとして対策を講じているところではあるが、その成果を実感するまでには至っていないという実態が浮かび上がってくる。引き続き、学習指導の工夫、授業改善に向けて取り組みを進めていきたいと思う。

設問7の「お子様は自分を鍛えようとしていますか」に対して、保護者の肯定率が67%に対し、生徒の肯定率が83%と開きが見られた。生徒に対してさらなる成長を望んでいる保護者の期待があることが推察される。

3 総合的に

学習に関わるいくつかの設問において課題があり、今後も引き続き改善が必要であると考える。今後も学力向上のために、生徒が意欲的に学習に取り組めるような環境と、より「わかる授業」へ向けての授業改善に努めていきたいと思う。

設問21「学校からの必要な情報が保護者に伝わっていますか」について、昨年度と比較して肯定率が5%のアップとなっている。今後もさらに、学校・学年においての各種によりや保護者会、ホームページ等において生徒の取り組みの成果や成長の跡を保護者が認識できるように努めていきたい。また、設問1「お子様は大山口中学校が好きですか」や設問23「学校は環境整備や安全への配慮ができますか」について、90%超の肯定的な回答が寄せられた。これらの成果は保護者の方々の協力があってこそなものと考える。より学校と保護者（家庭）が連携を密にし、生徒を健やかに育んでいけるような環境づくりに引き続き努めてまいりたい。